第２回今金町１２０年記念事業推進委員会　報告書

（今金町ふるさと創生支援委員会）

１　日　時　　平成２８年１１月９日（水）
２　場　所　　今金町役場２階会議室
３　出席者　　今金町１２０年記念事業推進委員会　※津村委員、辻委員は欠席。
　　事務局　　室長　山田　薫　主幹　早坂　靖　主事補　久保田　諒

４　てん末　　以下の通り報告いたします。

<table>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">・委員長あいさつ・・・仁木委員長よりあいさつ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「吹雪に見舞われながらも、お集まりいただきありがとうございます。予算編成の関係上、早めに決定したい事項がいくつかあるため、今回の委員会ではそれらの事項をメインに進めていきたい。」</td></tr>
<tr><td colspan="2">・協議事項</td></tr>
<tr><td colspan="2">今金町１２０年記念事業について</td></tr>
<tr><td colspan="2">事務局　早坂主幹より庁舎内検討委員会で検討された各事業について説明。今回は特に、１２月補正や発注業者との見積合わせの関係から町主催事業「記念品」と「イメージアップ企画」について協議する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">記念品について</td></tr>
<tr><td colspan="2">・全戸配布記念品事業（コンパクト防災グッズ６点セット）について</td></tr>
<tr><td>末藤委員</td><td>そもそも、今金町にとって防災グッズは必要なのか？あまりイメージがない。もし、防災グッズにしたとしても、せっかくの１２０年なので、インパクトと高級感のあるものを配布するべきだと思う。</td></tr>
<tr><td>中谷委員</td><td>各家庭でも、自分でお金を出してまで欲しいものでもないし、防災意識啓発という意味も込めていいのではないか。なかなか一般家庭では手に入らないもの（かつ実用的）を入れて、他には各家庭で自由に準備していただく方がいいのでは。記念事業参加配布品と組み合わせて、トートバッグ（エコバッグ）の中に、防災グッズを入れるというのもいいと思う。光の里さんで作っている、備蓄できるカンパンなどもどうか？</td></tr>
<tr><td>佐藤仁昭委員</td><td>１家庭に１つ配布するのであれば、家族全員が使えるものが入っているか、配布方法も考えた方がいいと思う。</td></tr>
<tr><td>山田室長</td><td>貴重なご意見非常にありがたい。そういった配布方法という面でもさらに協議が必要だと考えている。</td></tr>
</table>

・記念事業参加記念品配布事業（トートバッグ・フェイスタオルセット）について	
山北委員	これらは、記念事業に参加した際に配布される記念品ということは、１人で複数もらえてしまうこともある？
山田室長	町主催で行う事業で配布する記念品については具体的に決めたいと思うが、町民や団体の事業については積極的に配布していただきたいと考えている。
中谷委員	イベントの際にもらう資料などを持ち帰るのにトートバッグは便利だが、トートバッグという名前の知名度自体が、年配の方々にとってはあまりないイメージがある。エコバッグと名前を変えた方が環境に配慮した記念品ということで、喜ばれるのではないか。また、白いタオルというのは他のいろいろな企業からいただくし、つい埋もれてしまいがちであるから、例えば、今金の代表色である緑など、カラーリングされていた方が目立って大切に使っていただけるのではないか。
山田室長	エコバッグというのはすごく良い意見だと思う。また、普通のタオルというのは日常的に使うには機能として限られる部分はあると思うが、小さめのフェイスタオルはどこにでも持って行けるし、人によってさまざまな使い方ができるから、そういったものもいいのではないかと思う。
イメージアップ企画について	
１２０年懸垂幕作成設置事業	
山北委員	計画書には懸垂幕が２枚とあるが、これはなぜ２枚なのか？また、役場前のみに設置するのか？もっといろんなところに設置できると思う。むしろ、町境などや美利河地区の観光客用などに看板を設置するのもいいと思う。
早坂主幹	１年中同じものを設置しておくと、いずれ破けてしまうことを想定して、２枚にしたが、３枚でもいいと思う。その他の場所の設置については、また内部で検討させていただく。
１２０年記念特設 HP 開設事業	
末藤委員	町のホームページに開設することも大切だが、町内の企業さんも多くはホームページを所有している。そういった方々の協力を得て、１２０年記念のページを表示してもらえれば、今金町全体で１２０年を盛り上げることに繋がり、より町民の目にも止まると思う。
早坂主幹	すでに公共施設には１２０年のポスターを配置させていただいているが、ホームページも含め町内の事業者様の協力がいただけるよう徐々に動いていきたいと考える。

ふるさと応援大使等タイアップ記念事業について	
工藤敏之シェフ及び坂井ムッシュとのコラボ企画 女優　阿知波悟美氏と春風亭昇太さんのトークショー&ミニ落語寄席	
山田室長	応援大使事業は全体的に応援大使のスケジュールの関係上流動的なものが多いが、工藤シェフはできれば８月に行われる予定の今金町のいいとこ祭りの１イベントとして行いたい。さらに、同日に行われる成人式の講師もお願いしたいと考えている。お盆の日曜日ということやこれらのイベントのことを考慮すると、かなりの集客が期待される。実際にどういった形で料理を振る舞ってもらうのか、あらかじめ料理を作ってきていただくのかなど、内容についてさらに協議が必要である。
山崎委員	まさしくお年寄りや子供まで楽しめる、みんなが見たいと思えるイベントでとてもいいと思う。
山北委員	町民向けとは言っても、町外の方がいらっしゃった際の対応は、はたして無料なのか？また、町内外含め多くの方が訪れることが予想されるが、その際の対応はどうするのか。
山田室長	基本的には町外からの方でも無料と考えている。他町のイベントでは整理券を配布するといった対応もあるが、今回のトークショーでは今のところ特に考えていない。
全体を通して	
佐藤貴弘委員	ふるさと納税と１２０年をコラボし、体外的にPRするのはどうか。たとえば、今金町１２０年記念パックと称して、通常の返礼品より２０％増量したものなど。
山田室長	１２０年を祝うと同時に、町外へも今金町と１２０年のPRとなり、先進的な事業だと思う。ぜひ前向きに検討したい。
末藤委員	１００年記念の際なども行ったかと思うが、記念植樹やモニュメントなどの事業は行わないのか？こういった機会に後々まで残せるものがあればいいと思う。
山田室長	今回庁舎内検討委員会では意見として上がらなかったが、町長の思いとしては、祝賀会は開催せず、またハード事業はあまり行わない予定。その分、町民の皆様に還元できる事業としたい。町として行えるかはわからないが、意見としていただきたい。
山北委員	観光協会としても、１２０年記念に大量に桜を植樹する事業を考えているところである。
山崎委員	今金町を代表してくれるような観光地がなかなかないため、例えば誰もが目を向けるくらい、山が一面桜並木に見えるほど植樹するとしたら、それにちなんだイベントも開けるし、PRの材料となり得るのではないか。
末籐委員	せっかくの１２０年の機会なので、半端な事業を行うよりは観光地としてPRできるくらいインパクトのあるものを作ってもよいのでは。

第３回今金町１２０年記念事業推進委員会について	
早坂主幹	次回の委員会についてはおおよそ１１月２９日頃に開催したいと考えている。その際には、今回頂いた意見も反映させながら、議会に提出できるような資料も委員の方々に提示したい。また、団体事業や町民提案事業もとりまとめたものを、委員の方々にお見せできればと考えている。
・副委員長挨拶・・・多田副委員長より挨拶	
「本日も積極的な意見が聞けて良かった。様々な立場から、斬新なアイデアが出たと思うので、広く町民からよかったと喜んでもらえるような事業を多く行えればいいと思う。実りある１２０年にし、皆様のお力を借りてうまくいくように時間もよろしくお願いいたします。	
まとめ	
・記念品については、防災グッズも含め全体的にもっとグレードアップして、より高級感を感じさせるものがいいとの意見もいただきながらご了承をいただいた。記念事業参加配布品も、小さなフェイスタオルのようなものでもいいし、トートバッグをエコバッグと名前を変えたい。また、全戸配布記念品と組み合わせ、エコバッグの中身を防災グッズにしてもよいとのこと。ふるさと応援大使クリアファイルについても、すでに５０００部つくっているが、さらに１２０年と明記されたものを作成する予定である。 ・イメージアップ企画については、１年間使用すると破けてしまうことを想定し、懸垂幕は３枚とする。また、役場前だけでなく、町内のいろいろなところに設置することや看板の設置について要検討したい。町のホームページだけでなく、町内の事業者の所有するホームページにも１２０年について表示させてほしいとの意見をいただいた。事務局としてもぜひご協力が頂けるように動いていきたいと考えている。 ・ふるさと応援大使事業についても、それぞれまだ内容について協議が必要であり、不確定な部分があるが、ご了承をいただけた。 ・全体を通し、１２０年記念についてよりよい事業展開をしていきたいという形で協議が進んでおり、各委員よりたくさんの意見をいただくことが出来た。これらの意見を反映させ、次回委員会で提示したい。	